

少人数で自然あふれる 学校で学ぼう



4月から

メープル小学校が 小規模特別認可校に

小規模特別認可校制度は、自然に恵まれた環境のなか、心身の健康増進と豊かな人間性を培い、明るく伸び伸びとした特色ある教育活動を希望する保護者がいる場合、市内の全域から児童の入学を認める制度です。児童一人ひとりの実態に合わせ、少人数をいかした指導ができることが最大の特徴です。

メープル小学校のホームページ

<http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/school/maple/>

メープル小学校の歴史

平成11年4月に、上志文小学校と朝日小学校を統合し、4学級39人の児童で開校しました。

全国でも珍しいカタカナの校名は、緑多い自然環境に恵まれ、幌向川沿いのメープル街道の基点に位置している

メープル小の特色ある教育



保護者や地域との連携



運動会

たくさんの学校活動に保護者や地域住民が参加し、お互いの絆が深まり、地域全体で子どもたちの支えに。



確かな学力の定着



少人数ならではの、一人ひとりに応じたきめ細かな指導で、基礎学力が確実に定着し、全国平均を上回る学力結果に。



茶道

豊かな体験活動

地域の自然を生かし、地域住民や保護者などの協力で、色々な体験活動を通して心の教育に。



稲刈り



田植え



メープル小学校の様子

ことと、かえで（メープル）の木にちなみ、次のような願いを込めてつけられました。
 母なる木…豊かな感性と温かい思いやりの心
 対の葉っぱ…統合両校の融和と子どもたちの連携、たくましさ
 もみじの手…やさしさ、未来への理想や夢
 メープル…個性化、情報化、国際化の対応

JR岩見沢駅から車で20分ほどの、水田や畑地に囲まれた緑豊かな場所にあります。

校舎は、牧歌的な外観で室内は木のぬくもりを感じる明るく爽やかな中、教室は広く開放され、玄関を入ると子どもたちの声が聞こえてきます。

その中で、子どもたちは、少人数ではあっても、いつも元気に明るく、そしてみんな仲良く学校生活を送っています。

市内の小・中学校に通う子どもの数は、年々減少しており、特に過疎化が進む市の郊外では、メープル小学校などの小規模学校が、特色をいかした学校教育活動を進めにくくなってきてい

平成 22 年度
メープル小学校の小規模特別認可校

○学校公開
○説明会のお知らせ
○入学の募集

学校公開と説明会の日時

学校公開 1月22日(金) 午後1時～2時20分

説明会 1月22日(金) 午後2時20分～3時20分

会場 メープル小学校(上志文町107)

募集期間 1月6日(水)～2月1日(月)

募集学年と人数

1年は6人程度、2～6年はそれぞれ3人程度

募集人数を超えた場合は、2月7日(日)に抽選を行い決定します。(抽選会場は、別途通知します)

入学の決定通知期日 2月中旬

申込・問合せ先 市教委学校教育課学校教育係

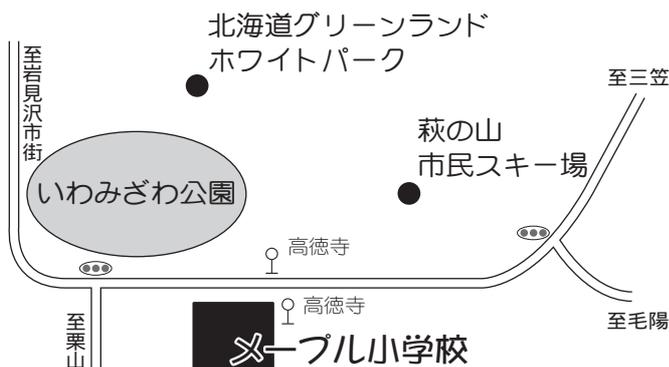
入学の条件

- 保護者は、小規模特別認可校の趣旨と教育活動に賛同してもらうとともに、PTA活動も十分理解し、積極的に協力すること。
- 児童の心身の状況が、通学に耐えられること。
- 通学にかかる安全の確保は保護者の責任で行うこと。なお、自宅からメープル小学校までの通学方法は、公共交通機関を利用することを基本とします。(通学にかかる費用は保護者が負担)
- 入学後は、卒業までメープル小学校に就学することを基本とします。

入学を許可した後で、申請内容に事実と違うことが認められた場合など、入学の許可を取り消すことがあります。

メープル小学校へは

中央バス万字線で
高德寺下車徒歩2分



給食時間



清掃や給食は学年の隔てなく全児童一緒に取り組み、自然と子どもたちの間には信頼関係が、高学年の子にはリーダーシップが。



清掃時間

つなぎあう心



休み時間

休み時間でも、児童一人ひとりに教職員の目が届き、温かく包み込むような雰囲気。

ちょっとメープル小の校舎を紹介



児童玄関前ホール

体育館

農家倉庫によくある腰折れ屋根を再現しました

ます。その反面、保護者の中には、子どもをゆったりと自然に囲まれた学校で、教育を受けさせたいと思っている方もいるのではないのでしょうか。そこで、小規模特別認可校制度を実施することで、特色ある教育を続けていけるようにするとともに、その教育を受けられるという保護者の選択肢が増えることとなります。是非、この機会に自分の子どもをどのような教育環境で、過ごさせてあげたいかを考えてみてください。

問合せ先 市教委学校教育課学校教育係